

## けいしちょう安全安心モニター制度

### ■ 目的

「安全で安心して暮らせる街、東京」の実現に向けた諸対策を効果的に推進するため、警察業務における課題等に関し、都民等からの意見や提案をインターネット利用によるアンケートを実施することにより集約し、迅速かつ効果的に施策等に反映させることを目的とする。

### ■ 制度の概要

#### 1 調査対象者(けいしちょう安全安心モニター)

満18歳以上の都内在住、在勤又は在学する者 1,000名以内

※ 警視庁ホームページ上でモニターを公募し、応募者の中から、性別、年代、居住地域等を考慮して候補者を選定し、電子メールにより通知(依頼)

#### 2 アンケートの実施

##### ○ 調査方法

インターネットを利用したアンケートによる調査

##### ○ 調査項目(アンケートテーマ)

重点的に実施している施策や今後取り組む課題等に必要な事項

##### ○ 調査回数

平成24年度内に4回実施予定

#### 3 謝礼

アンケート1回につき、図書カード(500円券)1枚を年度末にまとめて交付

## 調査の概要

- 調査テーマ  
「身近な犯罪の防止と規範意識の向上」について
- 調査目的  
サイバー空間、子どもを取り巻く環境、万引き、近隣トラブル等の身近な犯罪などについての意識等を調査し、今後の施策等の参考とするため。
- 調査期間  
平成24年12月19日(水)から平成24年12月28日(金)までの間
- 調査方法  
インターネットを利用したアンケート調査
- 調査対象(平成24年度けいしちょう安全安心モニター)  
950名  
※ 公募した満18歳以上の都内在住者、在勤者又は在学者
- 回答者数  
865名(回答率 91.1%)
- 回答者の属性

属 性		回収数	構成比	
全 体		865	100.0	
性別	男 性	432	49.9	
	女 性	433	50.1	
年代別	18歳～19歳	15	1.7	
	20代	111	12.8	
	30代	170	19.7	
	40代	166	19.2	
	50代	131	15.1	
	60代	160	18.5	
	70歳以上	112	12.9	
職業別	会社員	272	31.4	
	公務員	18	2.1	
	自営業	84	9.7	
	パート・アルバイト	83	9.6	
	学 生	50	5.8	
	主 婦	200	23.1	
	無 職	120	13.9	
	その他	38	4.4	
居住地域別	都内在住	23区部	539	62.3
		市町村部	294	34.0
	都外在住	32	3.7	

※ 集計結果は、百分率(%)で示している。小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases)は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

## 「身近な犯罪の防止と規範意識の向上」について

「安全で安心して暮らせる街、東京」の実現に向け、警視庁では、「規範意識の向上」と「地域の絆の再生」をキーワードとして、「犯罪の起きにくい社会づくり」に取り組んでいます。

今回のアンケートは、『身近な犯罪の防止と規範意識の向上』をテーマに、皆様が日常生活で目にすることがあったり、発生しやすい犯罪のことなどをお聞きして、「犯罪の起きにくい社会づくり」のための施策等に活用させていただくものです。

### ◇サイバー空間の安全について

- Q 1 コンピュータウイルスに感染しないために、どのような対策をとっていますか。 . . . . . 4
- Q 2 ウイルス対策ソフトを導入していないのは、なぜですか。 . . . . . 5
- Q 3 どのようなとき、パソコンやスマートフォンがコンピュータウイルスに感染したことを疑いますか。 . . . . . 6
- Q 4 あなたが行っているコンピュータウイルス対策で、ウイルスに感染しないと思いますか。 . . . . . 7
- Q 5 フィッシング詐欺の被害に遭わないために、どのような対策をとっていますか。 . . . . . 8
- Q 6 あなたがしているフィッシング対策で、被害を防げると思いますか。 . . . . . 9

### ◇子どもの安全について

- Q 7 あなたが小中学生のころと比べて、今の子どもを取り巻く環境は、危険だと思いますか。 . . . . . 10
- Q 8 なぜ、今の子どもを取り巻く環境の方が危険だと思うのですか。 . . . . . 11
- Q 9 今の子どもを取り巻く環境は、どのような危険があると思いますか。 . . . . . 12
- Q 10 子どもの安全を守るため、警察は何をすべきだと思いますか。 . . . . . 13

### ◇万引き防止について

- Q 11 都内の万引き被害の総額は、昨年1年間でどれくらいだったと思いますか。 . . . . . 14
- Q 12 万引きが多発しているのは、何が原因だと思いますか。 . . . . . 15
- Q 13 万引きをなくすためには、どのようなことに最も力を入れるべきだと思いますか。 . . . . . 16
- Q 14 少年から品物を買取ることについて、どう思いますか。 . . . . . 17
- Q 15 少年による盗品の転売を防ぐためには、買取り店側はどのようなことに気を付ければよいと思いますか。 . . . . . 18

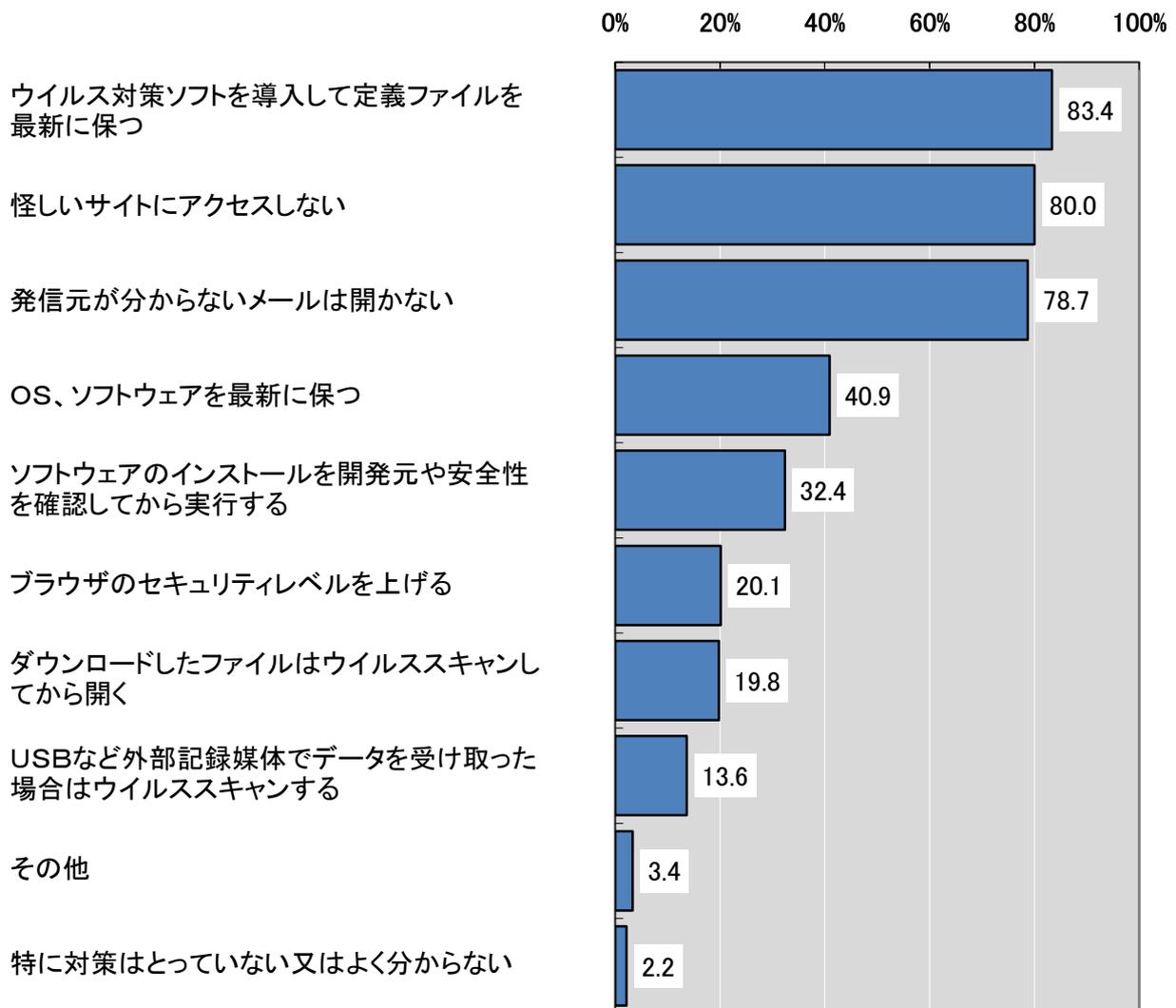
### ◇近隣トラブルについて

- Q 16 近隣住民と口論になるなど、何かトラブルを経験したことがありますか。 . . . . . 19
- Q 17 あなたが経験した近隣トラブルにより、どういう実害がありましたか。 . . . . . 20
- Q 18 近隣トラブルにあったとき、あなたの主な相談先はどこ（だれ）でしたか。 . . . . . 21
- Q 19 相談を受けた担当者の対応は、どうでしたか。 . . . . . 22
- Q 20 近隣トラブルに対して、警察にはどのように対応してほしいですか。 . . . . . 23

## サイバー空間の安全について

Q 1 コンピュータウイルスに感染しないために、どのような対策をとっていますか。  
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

【全体】(n=865)

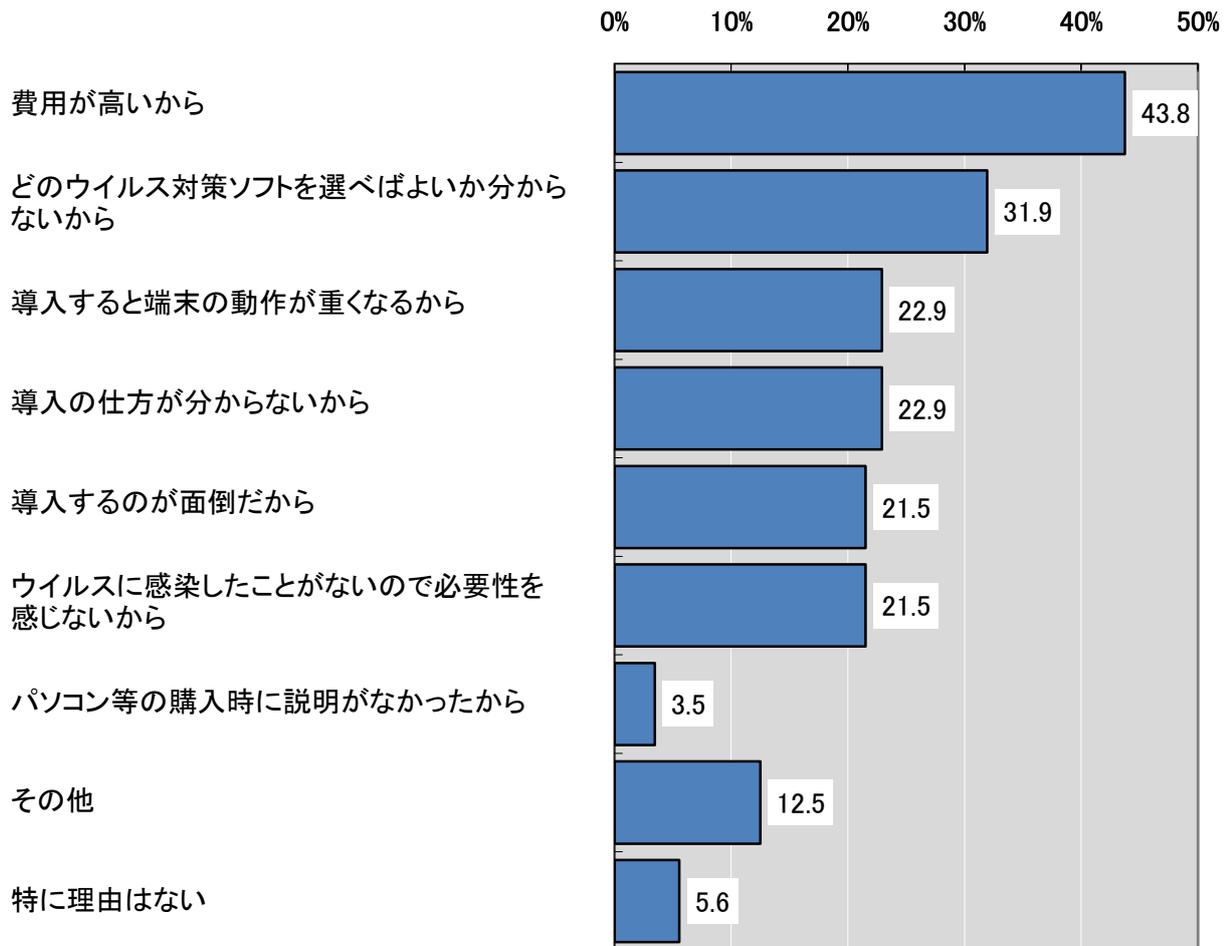


## サイバー空間の安全について

Q1で「ウイルス対策ソフトを導入して定義ファイルを最新に保つ」を選択しなかった方にお尋ねしました。（16.6% 144人）

Q2 ウイルス対策ソフトを導入していないのは、なぜですか。  
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

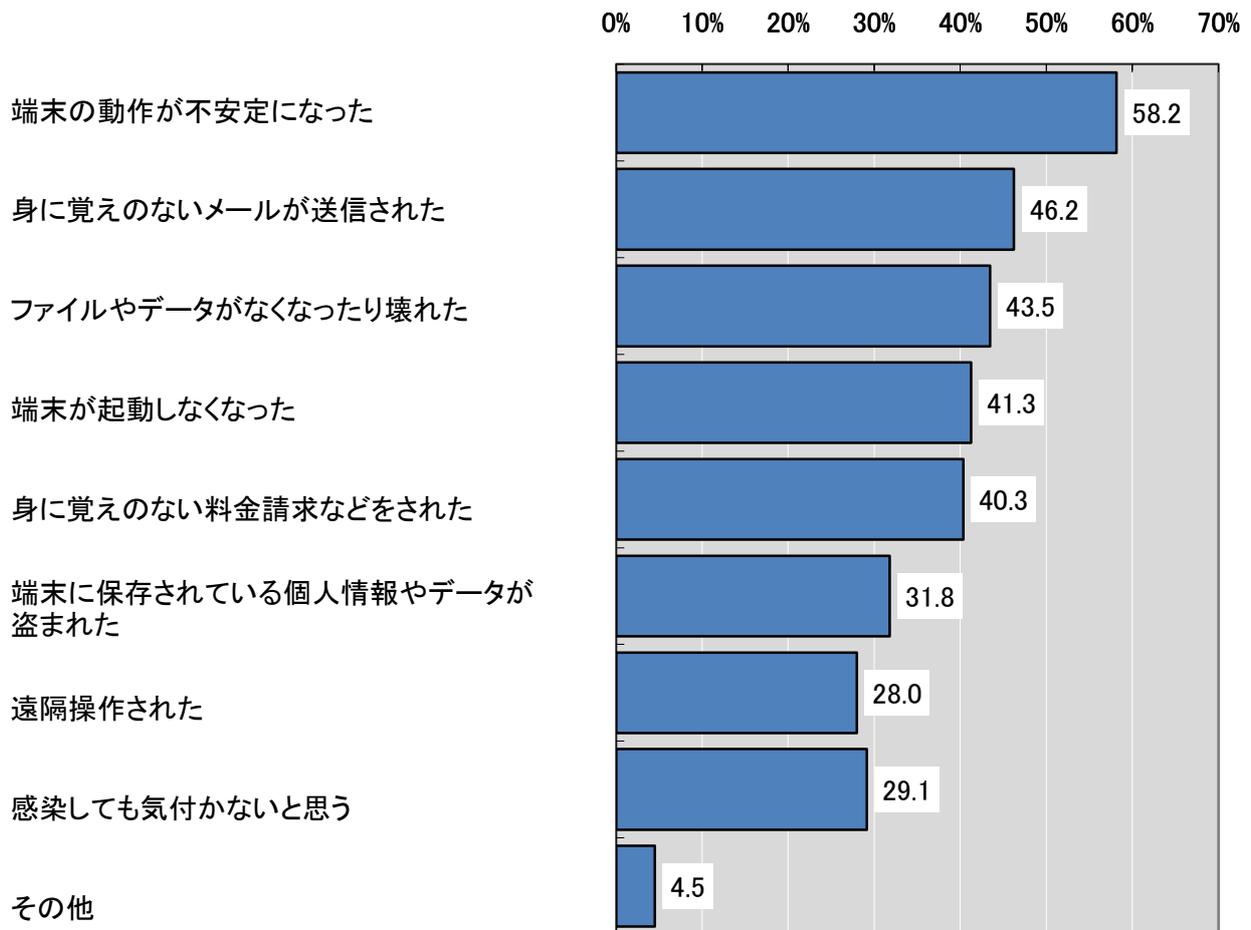
【全体】(n=144)



## サイバー空間の安全について

Q3 どのようになったとき、パソコンやスマートフォンがコンピュータウイルスに感染したことを疑いますか。  
該当する項目を選んでください（複数回答可）。

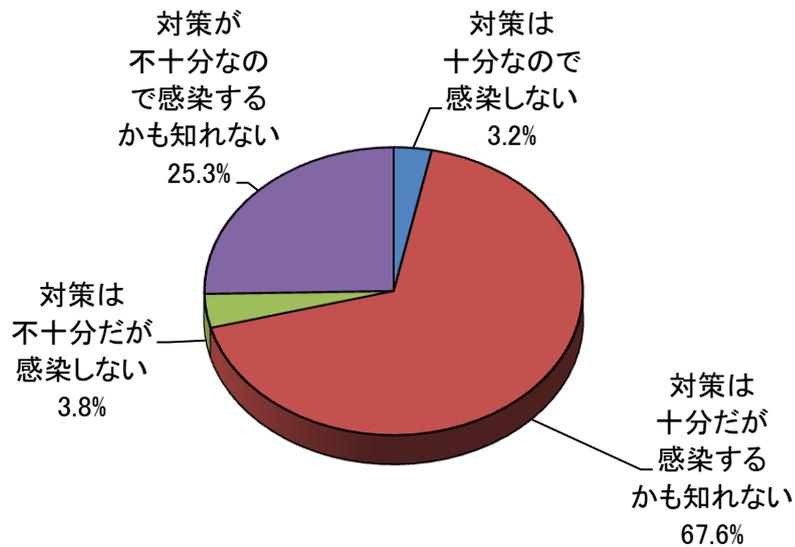
【全体】(n=865)



## サイバー空間の安全について

Q 4 あなたが行っているコンピュータウイルス対策で、ウイルスに感染しないと思いますか。該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=865)



※ 「感染しない（計）」（7.1%）

= 「対策は十分なので感染しない」 + 「対策は不十分だが感染しない。」

「感染するかもしれない（計）」（92.9%）

= 「対策は十分だが感染するかもしれない」 + 「対策が不十分なので感染するかもしれない」

※ 「対策は十分だ（計）」（70.9%）

= 「対策は十分なので感染しない」 + 「対策は十分だが感染するかもしれない」

「対策は不十分だ（計）」（29.1%）

= 「対策は不十分だが感染しない」 + 「対策が不十分なので感染するかもしれない」

## サイバー空間の安全について

次の説明をご覧になってから、設問にお進みください。

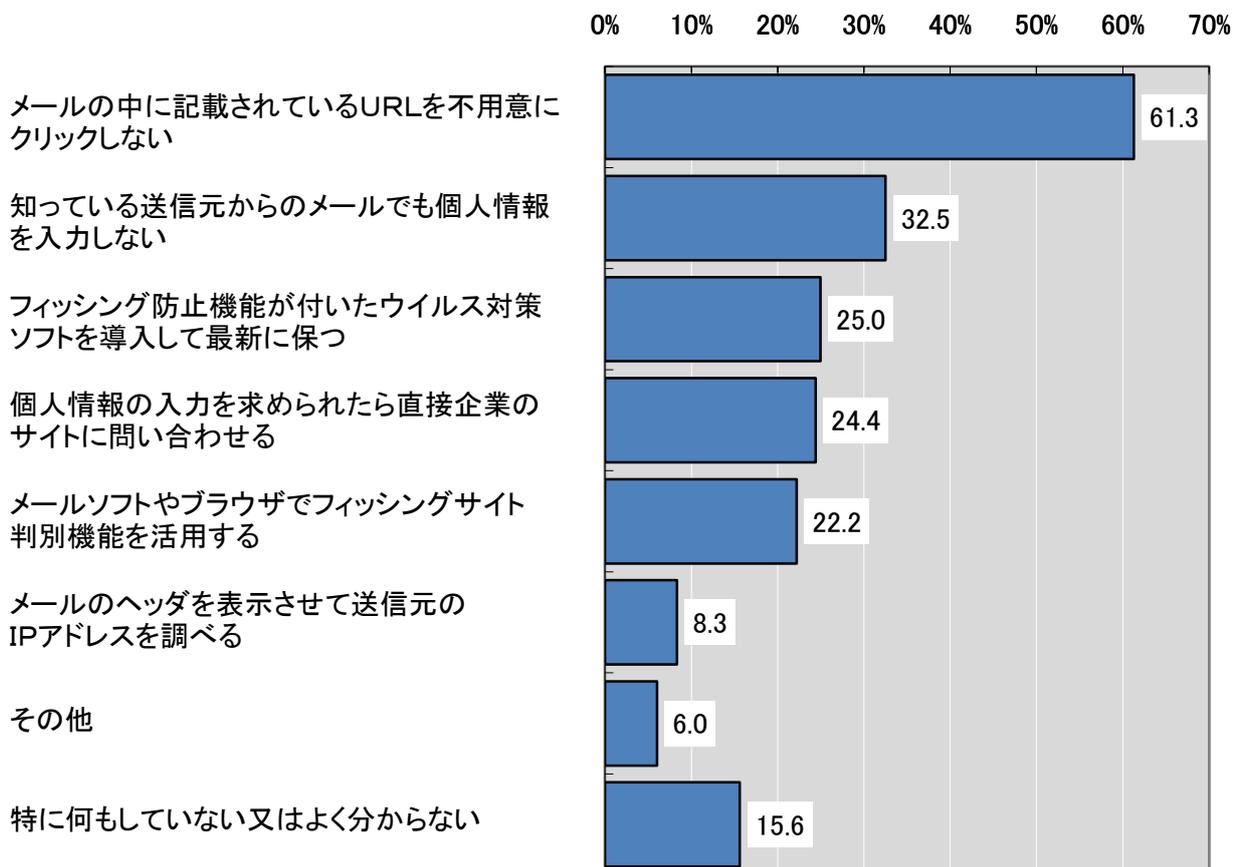
### 【フィッシング詐欺について】

フィッシング詐欺とは、オンラインバンクやクレジットカード会社等の名前をかたって不特定多数のユーザーにメールを送信し、「セキュリティ向上のため」とか「悪用防止のため」などと称して本物そっくりの偽サイトに誘導した上、ID、パスワード、口座番号、暗証番号、クレジットカード番号等の個人情報をだまし取る犯罪です。

そうしてだまし取られた個人情報を悪用され、多額の被害を受けたという訴え出が増えてい

Q5 フィッシング詐欺の被害に遭わないために、どのような対策をとっていますか。  
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

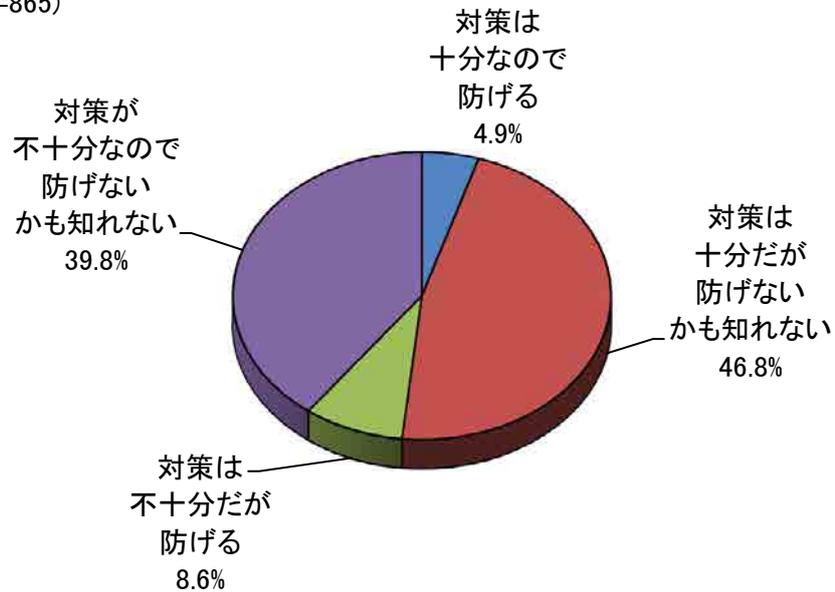
【全体】(n=865)



## サイバー空間の安全について

Q6 あなたがしているフィッシング対策で、被害を防げると思えますか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=865)

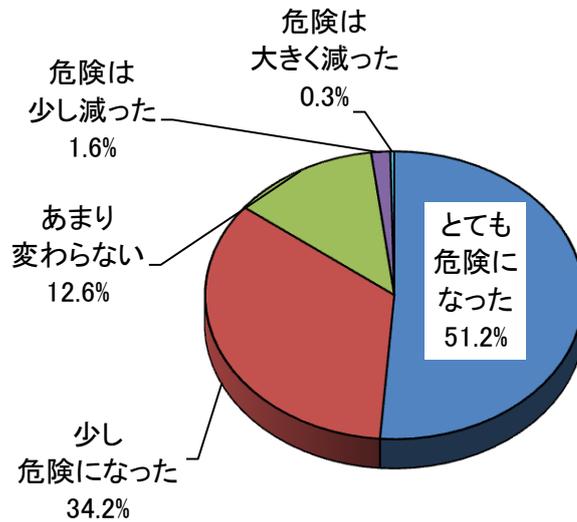


- ※ 「被害を防げないかもしれない(計)」(86.6%)  
= 「対策は十分だが防げないかもしれない」 + 「対策が不十分なので防げないかも知れない」  
「被害を防げる(計)」(13.4%)  
= 「対策は十分なので防げる」 + 「対策は不十分だが防げる」
  
- ※ 「対策は十分だ(計)」(51.7%)  
= 「対策は十分だが防げないかもしれない」 + 「対策は十分なので防げる」  
「対策は不十分だ(計)」(48.3%)  
= 「対策が不十分なので防げないかも知れない」 + 「対策は不十分だが防げる」

## 子どもの安全について

Q7 あなたが小中学生のころと比べて、今の子どもを取り巻く環境は、危険だと思いますか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=865)



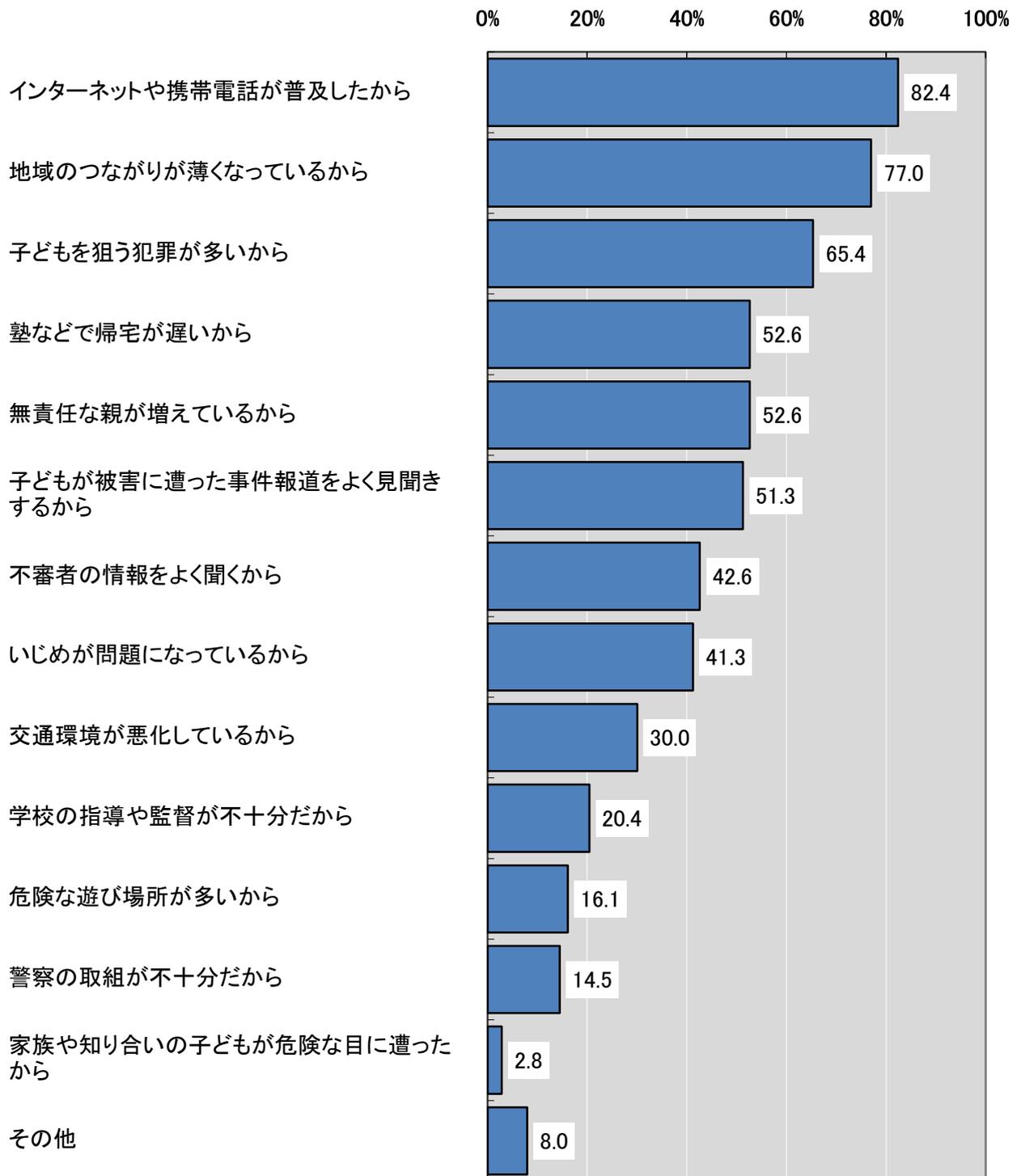
※ 「危険になった（計）」（85.4%）＝「とても危険になった」＋「少し危険になった」  
「危険は減った（計）」（2.0%）＝「危険は少し減った」＋「危険は大きく減った」

## 子どもの安全について

Q7で「とても危険になった」又は「少し危険になった」を選択した方にお尋ねしました。  
(85.4% 739人)

Q8 なぜ、今の子どもを取り巻く環境の方が危険だと思うのですか。該当する項目を選んでください(複数選択可)。

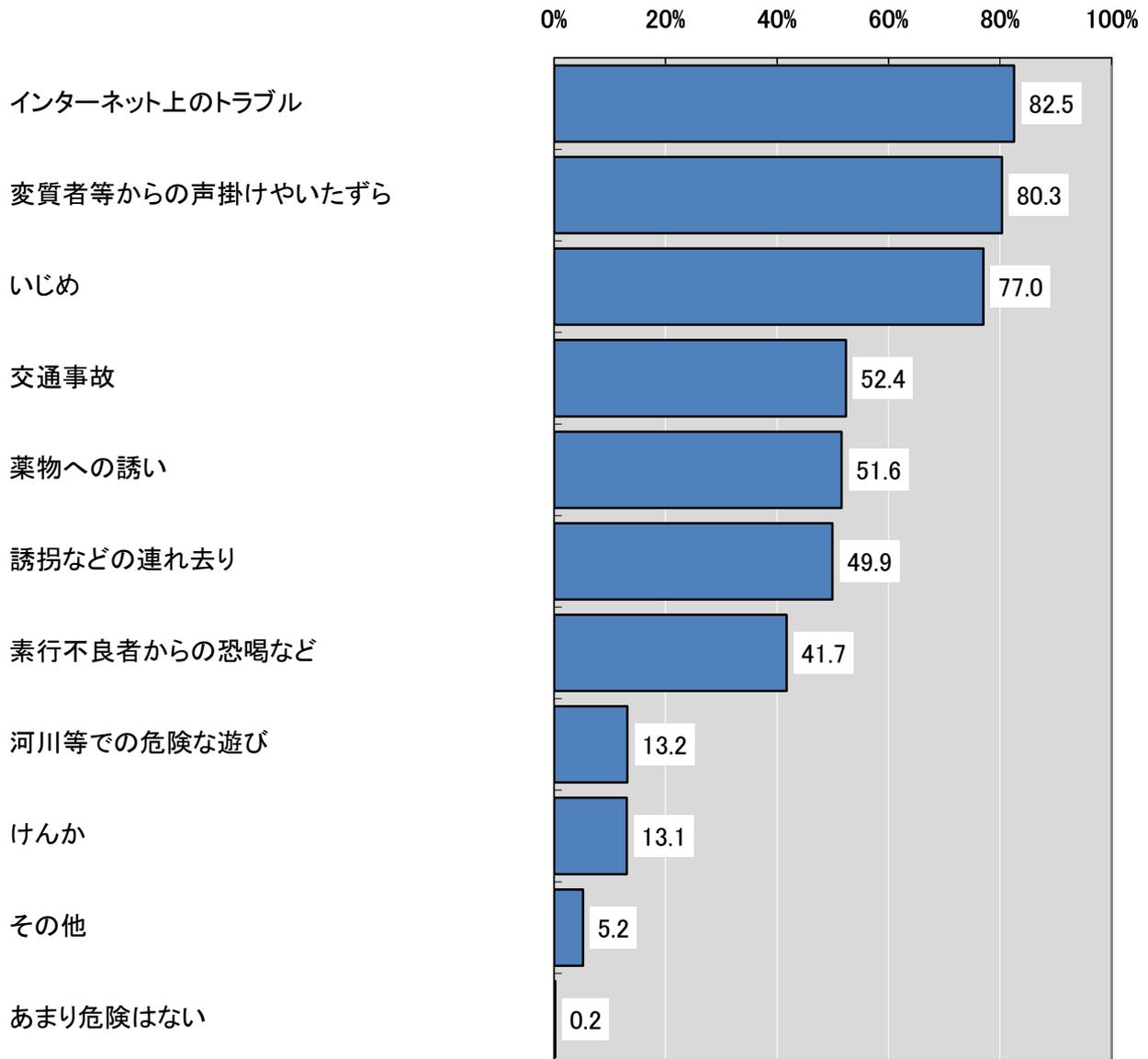
【全体】(n=739)



## 子どもの安全について

Q9 今の子どもを取り巻く環境は、どのような危険があると思いますか。  
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

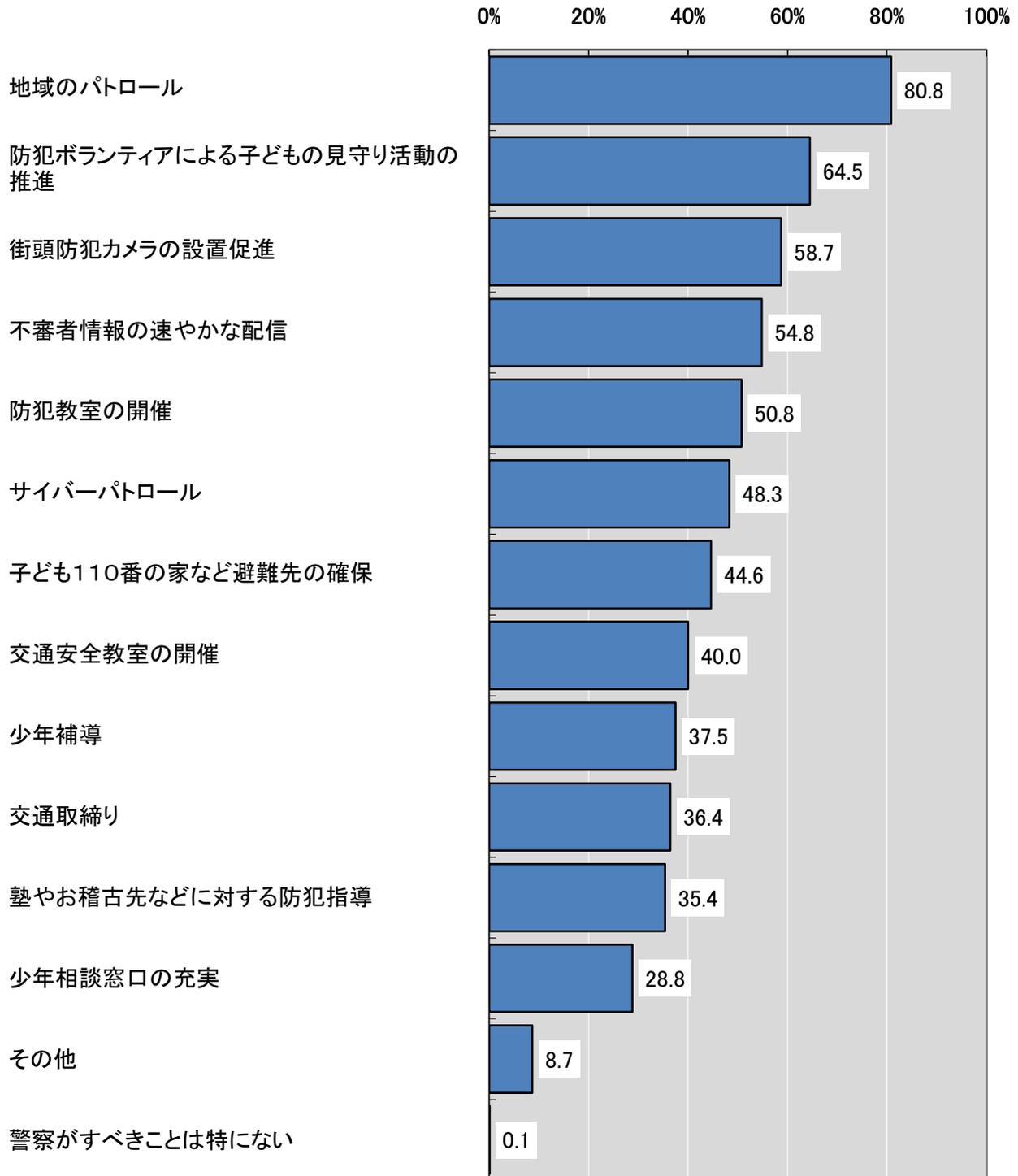
【全体】(n=865)



## 子どもの安全について

Q10 子どもの安全を守るため、警察は何をすべきだと思いますか。  
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

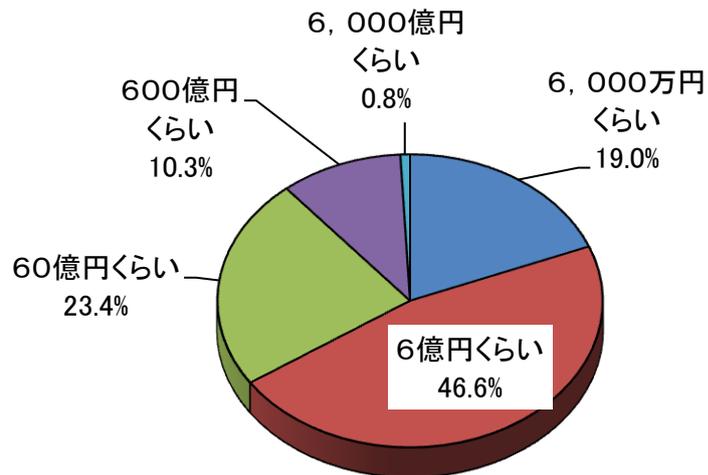
【全体】(n=865)



## 万引き防止について

Q 1 1 都内の万引き被害の総額は、昨年1年間でどれくらいだったと思いますか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

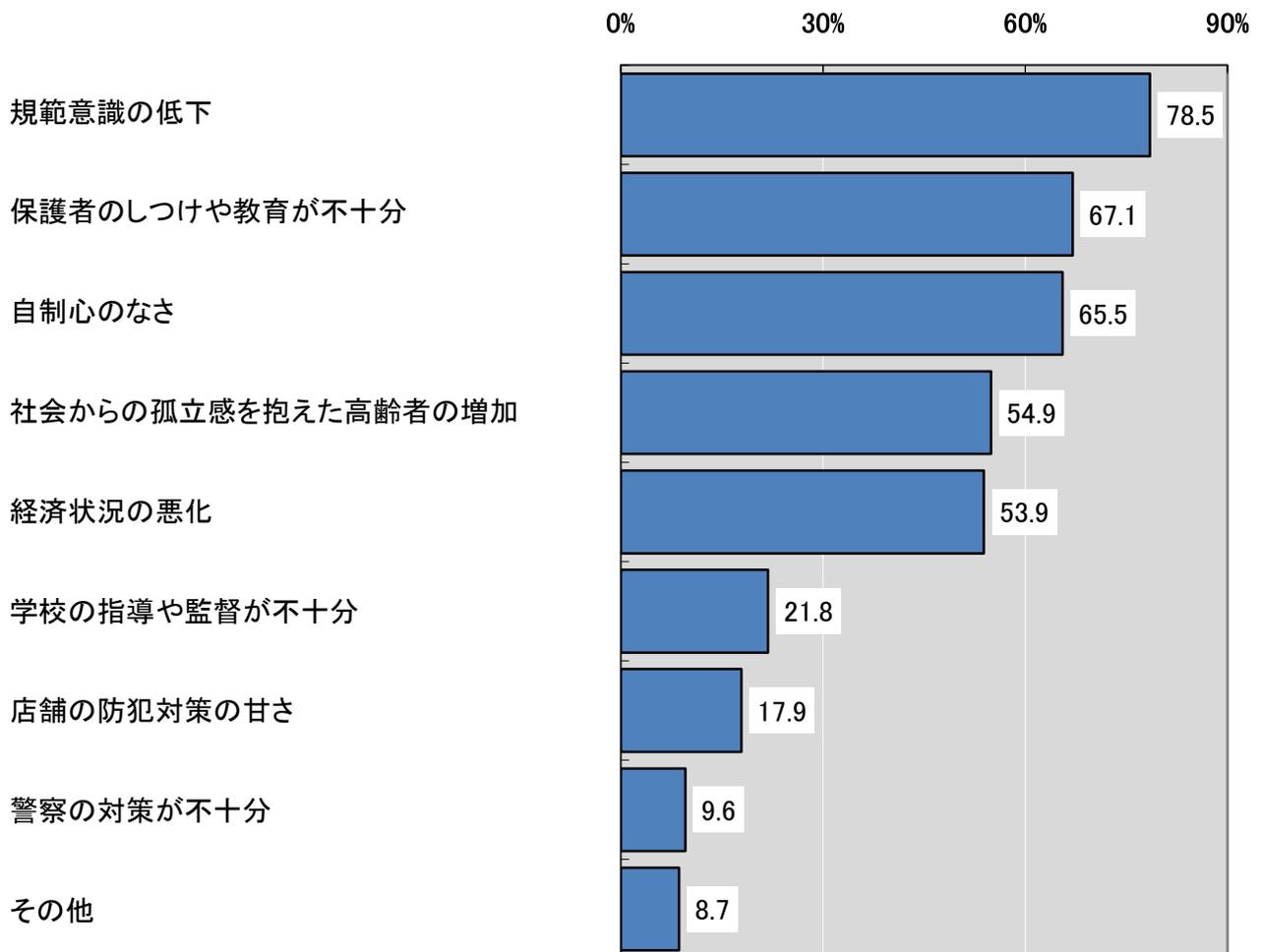
【全体】(n=865)



## 万引き防止について

Q 1 2 万引きが多発しているのは、何が原因だと思いますか。  
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

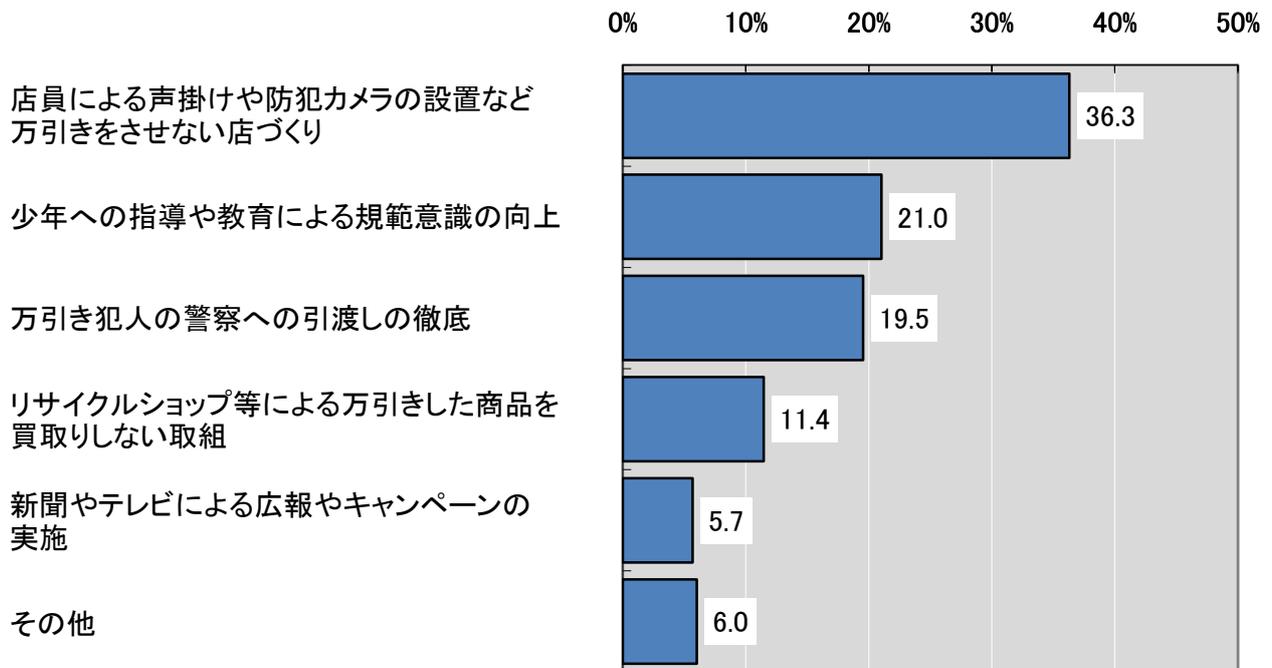
【全体】(n=865)



## 万引き防止について

Q13 万引きをなくすためには、どのようなことに最も力を入れるべきだと思いますか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=865)



## 万引き防止について

次の説明をご覧になってから、設問にお進みください。

### 【事例】

高校生の少年A君は、近所の書店から人気歌手のCDや新作映画のDVDを万引きし、別のお店に転売することを思いつきました。

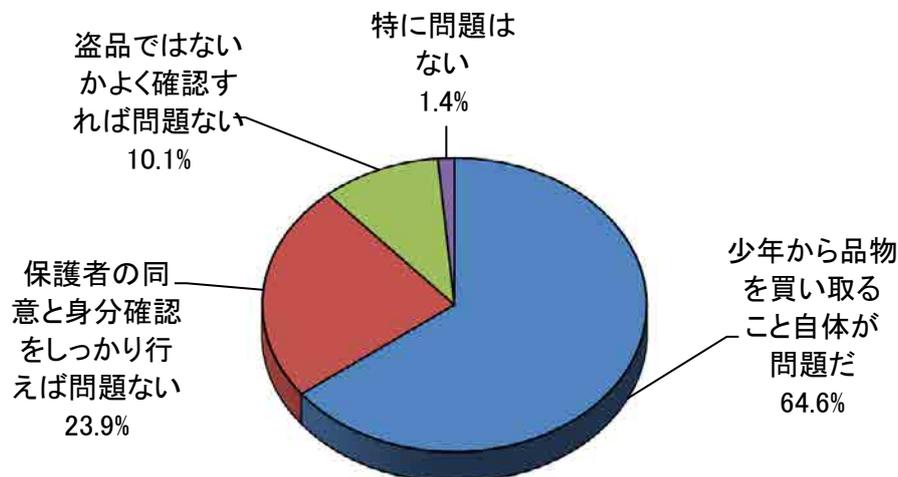
A君が盗んだCDやDVDを売りに行ったお店では、未成年者からの買取りの際、運転免許証や学生証などによる身分確認と、保護者の同意書を確認していました。そのため、「親に知られては面倒だ。」と思ったA君は、学校の先輩から同意書の保護者欄に署名してもらい、それを提出して転売しました。

※ 「古物営業法」では、盗品の流通を防止するため、リサイクルショップ等がバイク（部品含む。）・CDやDVD・ゲームソフト・書籍の取引をする場合は、金額を問わず買取り時に身分確認をすることを義務付けています。

また、「東京都青少年の健全な育成に関する条例」では、リサイクルショップ等が18歳未満の者からの品物の買取りをする場合、その保護者の同伴若しくは同意を得ているときを除いて禁止しています。

Q14 少年から品物を買取ることについて、どう思いますか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

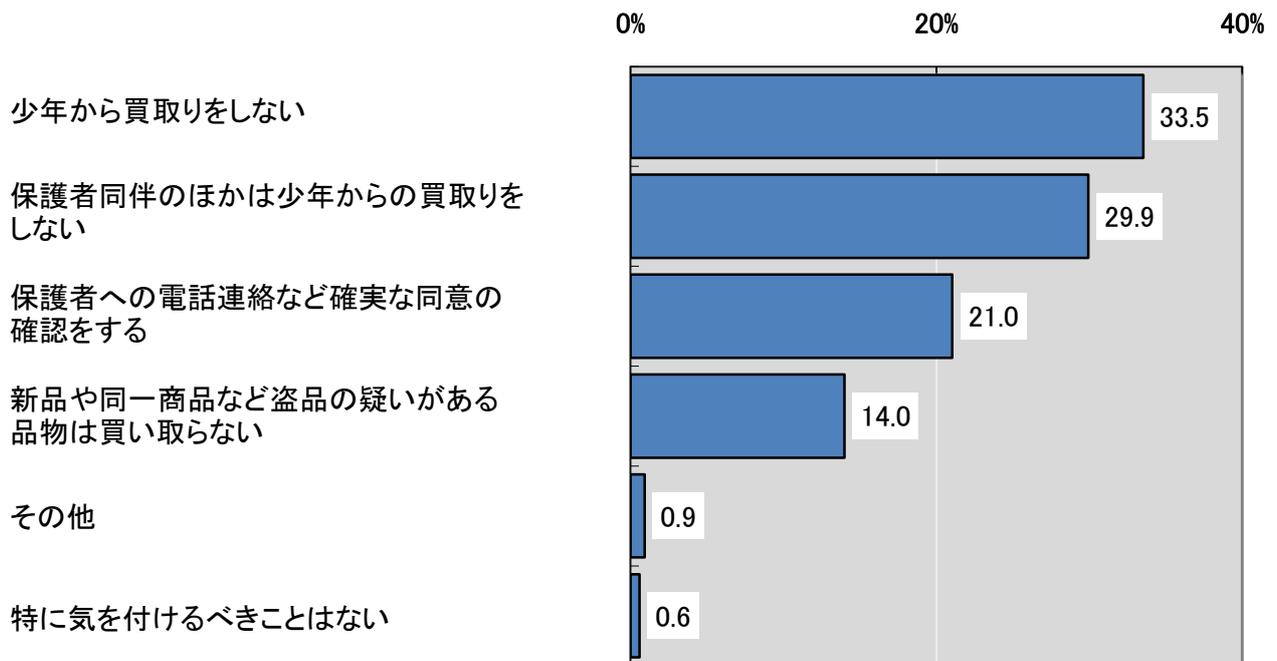
【全体】(n=865)



## 万引き防止について

Q 15 少年による盗品の転売を防ぐためには、買取り店側はどのようなことに気を付けばいいと思いますか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

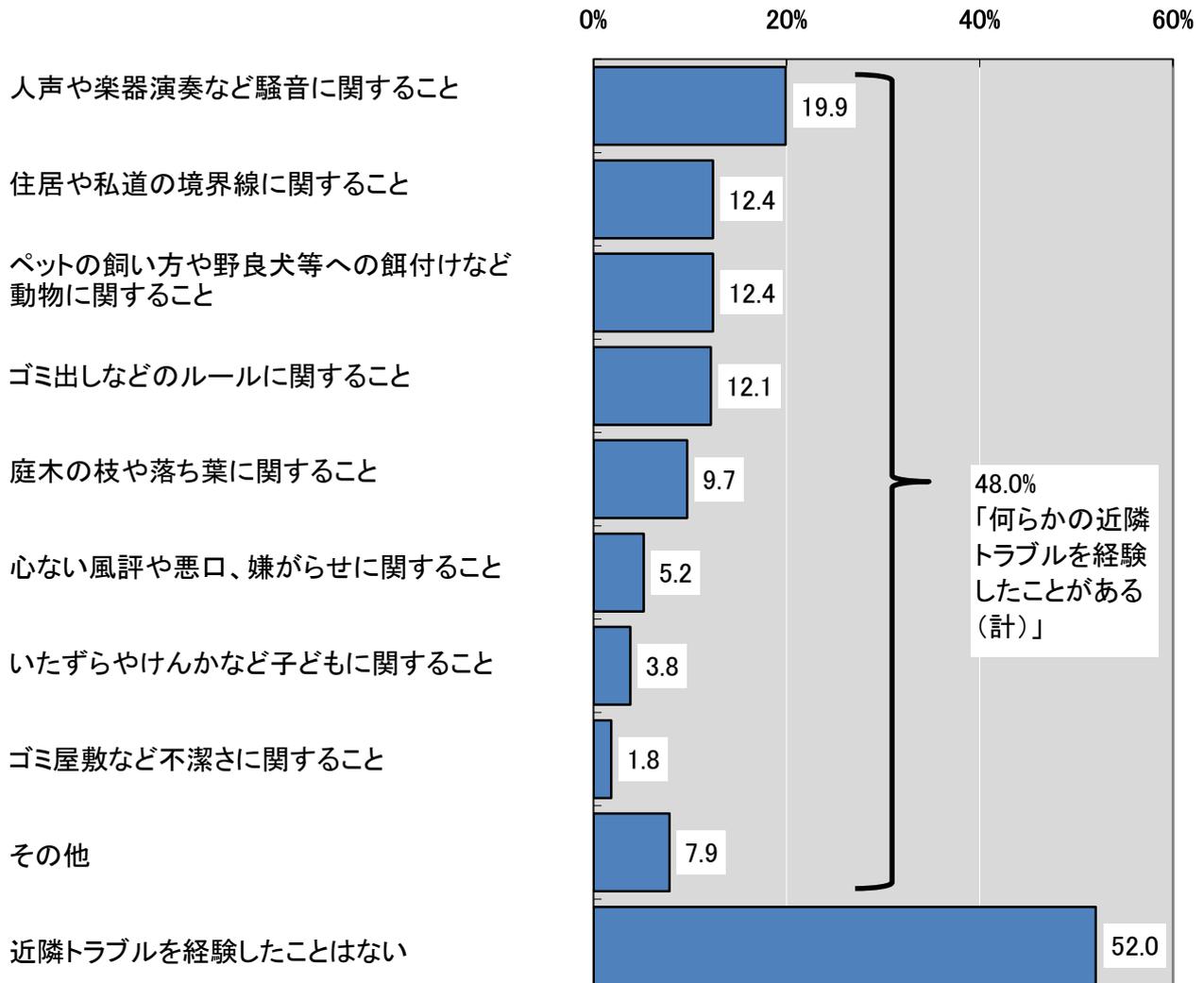
【全体】(n=865)



## 近隣トラブルについて

Q 1 6 近隣住民と口論になるなど、何かトラブルを経験したことがありますか。  
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

【全体】(n=865)

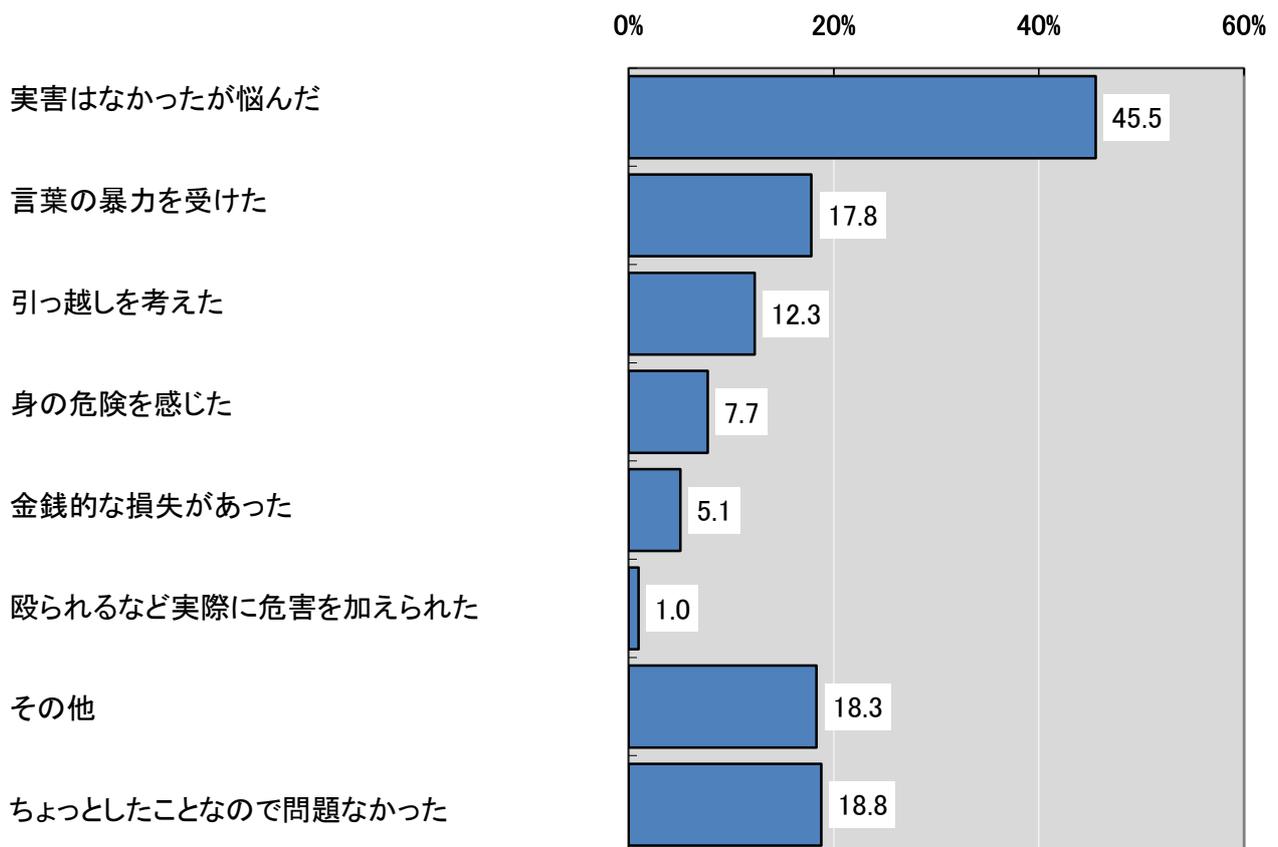


## 近隣トラブルについて

Q16で「近隣トラブルを経験したことはない」を選択しなかった方にお尋ねしました。  
(48.0% 415人)

Q17 あなたが経験した近隣トラブルにより、どのような実害がありましたか。  
該当する項目を選んでください(複数選択可)。

【全体】(n=415)

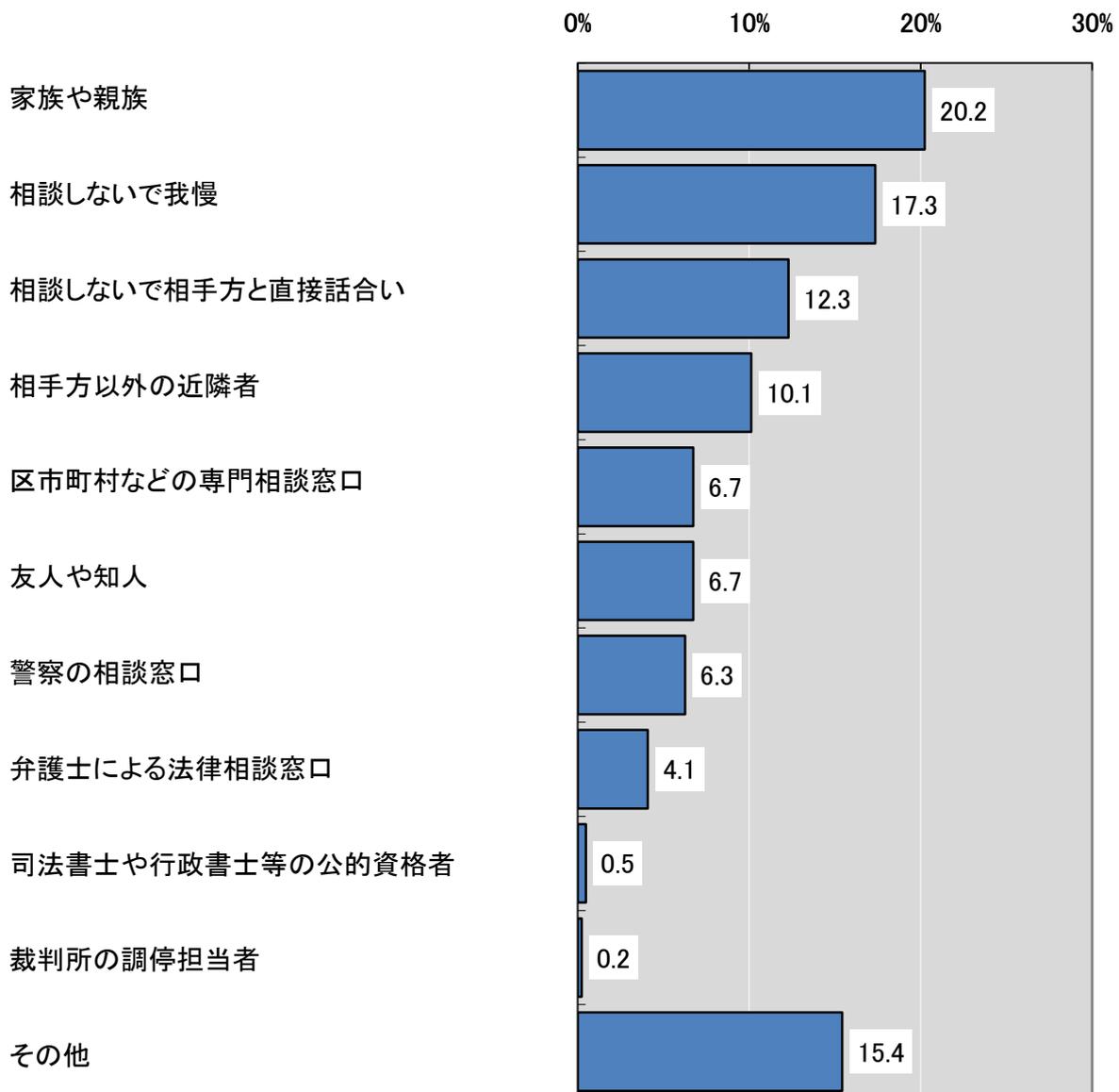


## 近隣トラブルについて

Q16で「近隣トラブルを経験したことはない」を選択しなかった方にお尋ねしました。  
(48.0% 415人)

Q18 近隣トラブルにあったとき、あなたの主な相談先はどこ(だれ)でしたか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=415)

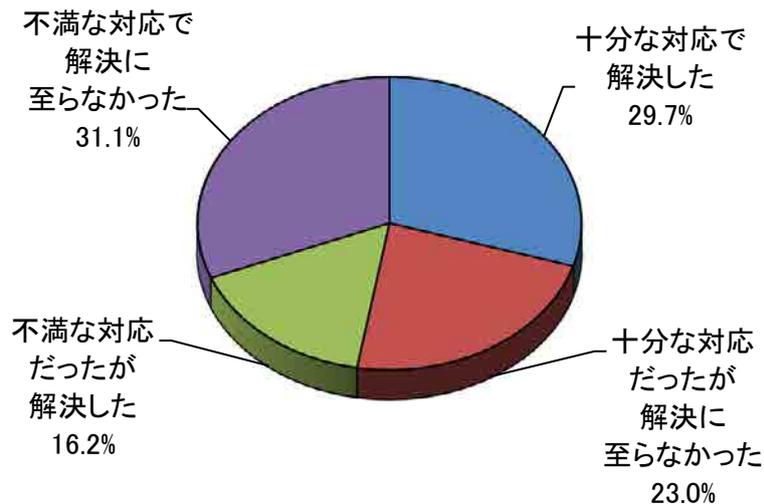


## 近隣トラブルについて

Q18で「警察の相談窓口」、「区市町村などの専門相談窓口」、「弁護士による法律相談窓口」、「司法書士や行政書士等の公的資格者」又は「裁判所の調停担当者」を選択した方にお尋ねしました。(17.8% 74名)

Q19 相談を受けた担当者の対応は、どうでしたか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=74)



※ 「十分な対応だった(計)」(52.7%)  
= 「十分な対応で解決した」 + 「十分な対応だったが解決しなかった」  
「不満な対応だった(計)」(47.3%)  
= 「不満な対応だったが解決した」 + 「不満な対応で解決に至らなかった」

※ 「解決した(計)」(45.9%)  
= 「十分な対応で解決した」 + 「不満な対応だったが解決した」  
「解決に至らなかった(計)」(54.1%)  
= 「十分な対応だったが解決に至らなかった」 + 「不満な対応で解決に至らなかった」

## 近隣トラブルについて

Q20 近隣トラブルに対して、警察にはどのように対応してほしいですか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=865)

